

阿蘇大橋地区復旧技術検討会(第5回)

＜議事要旨＞

開催日:平成29年4月19日

- 阿蘇大橋地区では、本年1月から斜面下部において有人作業による工事、地質調査等に着手したことを確認。
- 斜面崩落箇所の計測機器は今後も継続する。
- 斜面下部の地質調査結果について、国道57号及びJR豊肥線が存在していた箇所では、約15m程度地盤が流出し、その上に斜面上部から流出した土砂が約4～5m堆積していることを確認。
- 今後堆積土砂(約4～5m堆積)の範囲及び基盤となる地盤面の強度を詳細に調査することを確認了承。
- 欠壊防止工事については、現場状況を確認しながら設計変更等臨機応変に対応し、メンテナンスが出来る構造を検討すること。
- 斜面の恒久対策については、現地条件などを踏まえた対策工選定の基本的な考え方を確認。
- 欠壊防止工事については、追加の地質調査等の結果を踏まえ具体的に検討し、次回検討会にて報告する。